

東京片貝会報

発行 東京片貝会
責任者 本田秀幸
〒146-0084 大田区南久が原 2-32-10
電話 090-4831-5580

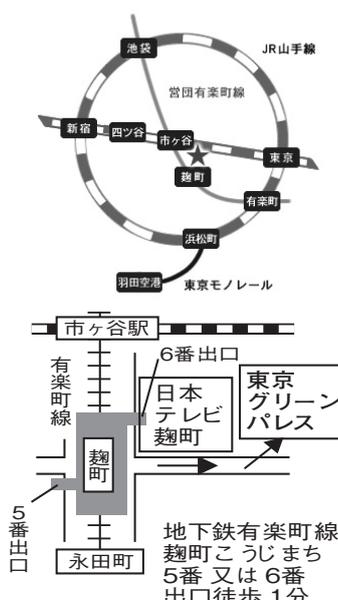
東京片貝会

第56回 総会御案内

薫風がそよぐ時候となり、皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。
早春の新年会では大いに盛り上がり、早いもので半年が経とうとしております。郷里より来賓をお招きし、第56回総会を左記の要領で開催いたします。
同級生の方やお友達を誘い合せて、多数のご参加いただきますようお願い申し上げます。

記

日時 平成27年6月28日(日)午後一時(正午より受付)
会場 東京グリーンパレス(全国市町村職員共済組合連合会 東京都千代田区二番町二番地)
電話 03-522104600
会費 八、〇〇〇円
*お願い 返信は6月17日(水)までをお願いします。



会の動き

- 理事会 12/14
 - 於・新潟県人会館
 - 本田会長以下14名
 - ・会報発送 約450部
 - ・新年会打ち合わせ
- 役員忘年会 12/14
 - 於・吉池食堂
 - 顧問・役員21名参加
- 関元市長通夜 1/23
 - 於・おぢや虹のホール
 - 本田会長 参列
- 新年会 1/25
 - 於・東京グリーンパレス
 - 出席 会員51名 片貝1名
- 臨時理事会 3/8
 - 於・新潟県人会館
 - 本田会長以下13名
 - ・会の運営方針について
- 理事会 4/12
 - 於・新潟県人会館
 - 本田会長以下14名
 - ・報告・検討事項
 - ・会計報告
 - ・総会打ち合わせ
 - ・教育講演会 状況連絡
 - ・片貝会会報について

同級会の動き

立志級友会出会の旅
5/20、21日
於・五十沢温泉「ゆもとかん」
22名参加
翌21日は大崎八海山尊神社
越後ワイナリーなど見学

会員短信

上田益美(昭19年卒)新しい年と共に片貝会の益々のご発展を祈念申し上げます。会報いつも楽しみに致しております。黒崎晴郎(昭21年卒)今年もよろしく御願ひ致します。友田善智(昭22年卒)会報毎号楽しみにしております。浅田義男(昭22年卒)片貝会の為に本当にご苦労様です。中村恵美子(昭23年卒)楽しみに出席させて頂きます。安藤真理子(昭26年卒)いつも会報ありがとうございます。御盛会をお祈り申し上げます。本田善一(昭26年卒)元気で、何とかやっています。今後もよろしく御願ひします。荒木ムツ(昭27年卒)皆様にお逢いする事を楽しみにしています。吉原靖子(昭27年卒)和やかに楽しく会が進むことを願っております。元気にしています。芝満雄(昭31年卒)良いお年を。今年も宜しくお願い致します。高波国男(昭35年卒)民生委員の会議と重なってしまい、出

席できません。残念です。五十嵐哲郎(昭35年卒)楽しみにしています。小林直子(昭37年卒)昨年ケガをしてリハビリに励んでいました。盛会をお祈り致します。寺町明美(昭37年卒)懐かしい同輩の写真がありがとうございました。会のご発展を心よりお祈り申し上げます。高野鈴子(昭37年卒)新年会宜しく御願ひ致します。高坂清美(昭42年卒)初めてなのでご挨拶がてら出席したいとお思います。高野昭人(昭47年卒)次はふたば会から何人出られるよう声がけ致します。山口昌幸(昭55年卒)誠に残念ではございますが、欠席させて頂きます。ご尽力に心より感謝申し上げます。

片貝歳時記

浅原神社の桜と御手洗水場
浅原神社の春は桜が咲き乱れて華やかとなる。
子供の頃(昭和30年代)の神社の桜の思い出はほとんどない。まだ小さな木で、花も少なかったのだろう。
三島郡片貝村は、昭和二十二年十一月、町制施行で片貝町となった。これを祝い当時の青年会が桜の木を植樹された。
早七十年近い時が流れている。雄渾な筆の跡も見事な清浄水鉢は、一八五六年に寄進された。
「安政三丙辰年、御手洗清浄水鉢寄進之れ有り候」
当時、手洗の水源が問題となり、訴訟問題にまで発展した。村中深刻な争論となったが、なんとか通水はできた。
しかし、まもなく水源が枯れてしまった。その後、約百二十と言う長い年月を経た昭和五二年、ようやく水道水を引き入れ神水が溢れるようになった。片貝人の気質の一端が伺える。
また図中の碑は、「煙火三尺玉発祥の地」である。(昭和四三年九月九日)
境内には、いろいろな石祠、石柱、灯籠、句碑、石碑などがあり、片貝の歴史を伝える屋外博物館となっている。
絵文 小宮善興氏(陽光会)



新年会開催

笑顔が集えばそこは故郷

平成27年1月24日
東京グリーンパレス

平成二十七年年度の恒例新年会は、快晴の1月24日に、会員53名、来賓2名の55名が集まり開催された。

司会は十九伸会の小野塚和夫さんと、さまざまな会の安達智子さんのお二人にお願いし、司会から開会の辞が伝えられ開催された。最初に本田秀幸（永遠会）会長の挨拶では、元気な様子でご参集頂いた各位へ参加の謝辞をお伝えすると共に、年初にご逝去なされた関広一元市長と4名の会員各位に哀悼の意が手向けられた。また継続的な会の運営について、42歳以上の在京者へ入会の案内を行い、ぜひこの会の魅力に触れて楽しんでもらえるようにしたい、などの話があった。

また現在の理事改選について、あらためてお一人ずつ紹介が行われ、総会で遺漏していた改選承認を満場の拍手を持って得られた。これに添えて、理事選出の主旨について、当会は年代相互の幅広い交流と情報交換の場であり、これから会員数減少に向けて会員確保の一環としてご理解と新メンバー参加のご支援を賜りたいとの説明があった。

続いて、母校を励ます会会長の内藤富美子さん（つくし会）から、日頃のご支援への謝辞が述べられ、今年で33回目を迎える教育講演会と、母校への図書費贈呈に学校、児童・生徒の皆さんからの感謝が伝えられた。そして今後も学校、同窓会と連動しこの意義ある行事を継続するため、引き続き会員各位のご協力とご厚意に拠って支えられていることが述べられた。

片貝からの来賓の本田正憲氏（小千谷商工会議所会頭）からも、関前市長のご逝去について哀悼の意が述べられ、故郷の近況として、雪は早かっただけで例年通りだが、みぞれや雨が降ったりで家の倒壊が起きていて、井萩の小千谷寮管理人募集、ふるさと創世に係る次世代を担う若者の紹介やふるさと納税のお願い、そしておぢやファンクラブの勧誘など、沢山のメッセージを託されてのご挨拶となった。

乾杯の音頭は前会長の藤塚悟氏（陽光会）からいただき、重責を果たされ晴れ晴れとしたお気持ちでいることや本田新会長へのエールが添えられた。催し物では、新年会恒例の抽選会が行われ、JA越後おぢや様よりコシヒカリとカレーンター、片貝煙火工業様、片貝煙火協会様より花火からカレーンター、味のれん様より米菓と沢山のご寄付があり、大いに盛り上がった。当選者の方には若手理事がお届けし、その場で記念写真を撮影した。これらに加えて、故郷片貝の様子を少しでも身近に感じていただくようと、インターネットを通じて町の通りや様子を子細に迎ったり、昨年の還暦が打ち上げた大スクリーンを会場のスクリーンご覧いただくことを取り入れた。



閉会の辞として、芝強副会長（十九伸会）から、会員各位の交流を盛り立てる席順の工夫をしたことや、次回の総会で変わらぬ元気にお目にかかれることを願っていると述べられ、閉会となった。



【来賓出席】（敬称略）
本田正憲（小千谷商工会議所会頭）、小野塚東一（片貝）
【会員出席者】（敬称略）
（昭和21〜30卒）
安達和三、安達弘男、阿部修次、黒崎晴郎、佐藤安治、高野賢、山口明男、浅田義男、大塚順一、中村恵美子、丸山恭次、小宮秀雄、荒木ムツ、佐藤祐一、藤塚浩治、黒崎勝、本田正弘、吉原宏
（昭和31〜39卒）
大塚國夫、小野塚清、黒瀬良子、小宮善興、芝満雄、藤塚悟、安達弘、五十嵐哲郎、黒崎正雄、小宮三郎、芝文夫、山家恵美子、鈴木映子、高野鈴子、本田秀幸、松井京子、吉原敏明、小野塚和夫、芝強、佐藤正志
（昭和40卒）
相崎俊夫、安達徹、小林和弘、安達亮一、高坂清美、内藤富美子、吉井宏、安達智子、徳永雅史、安達善喜、堀井ひとみ、佐藤潤、吉田貴裕、相崎清輝、友田啓

「雪国で手塩にかけて作った“白い宝石”」
米どころ雪国おぢやでつくられた“魚沼産コシヒカリ”
清らかな水と肥沃な土壌で丹精込めて作った逸品です
おいしさと安心を追求した黄金色の稲穂から精米された“白い宝石たち”
その炊きあがりの艶と風味の良さは魚沼産ブランドの名にふさわしい逸品です
詳細は → JA 越後おぢや 検索
JA 越後おぢや
〒94-0021
新潟県小千谷市土川1-12-25
☎0258-83-3525

諸我石材店
墓碑・灯籠
石材加工販売
諸我和成
〒947-0101
小千谷市片貝町一の町
☎0258-84-2317

※有料企業広告を募集※
税務相談
お気軽にどうぞ
もろが会計事務所
諸我時夫（昭32年卒）
柏市増尾8-22-9
自宅☎04-7176-4528
事務所03-3888-4190

母校を励ます会 お知らせ

いつもご支援、ありがとうございます

母校を励ます会では、皆様からの温かいご支援を頂き、小・中学校への図書贈呈と同級生による教育講演会を開催しています。

今年と同級生は

「脳の活用法」正しい言葉の使い方などを題材にご講演いただく予定です。

【母校を励ます会基金】

（敬称略・順不同）
（H26・11・13・31）

太刀川三郎（15）、松下利夫（18）、阿部修次・安達和三・黒崎晴郎（21）、豊島文枝（22）、長岡利夫・丸山恭次・中村恵美子（23）、石上俊夫（24）、小宮秀雄（26）、藤塚文顕・荒木ムツ・佐藤祐一・藤塚浩治（27）、相内テル・安達隆・品田紀美子・吉原宏・黒崎勝・本田正弘（28）、野崎眞知子・松本キイ・宮下愛子・吉井均（29）、安達弘之（30）、芝満雄・小野塚清・軍司雅子・小宮善興・藤塚

日時 ○月○日（○時より）
場所 片貝中学校体育館
講師 安達 篤 氏
八島出身 実生会

略歴 片貝小・中学校（昭和59卒）、明治鍼灸大学卒業

山形県守屋カイロプラクティックオフィスにて、臨床研修

を積み、平成4年に長岡市にて安達カイロプラクティック

オフィスを開業、平成5年に

悟（31）、諸我時夫（32）、大塚功績・安達 弘（33）、井上知子（34）、高波国男（35）、寺町明美・外山ひろ子・吉原敏明・松井京子・本田秀幸・鈴木映子（37）、芝 強・堀井 潔・本田利美・小野塚和夫（38）、天野八重子・谷内弘・佐藤正志（39）、相崎俊夫（40）、安達 徹（41）、高坂清美・安達亮一（42）、内藤富美子（43）、高野昭人・吉井 宏（47）、藤塚伸雄（48）、徳永雅史（53）、堀井ひとみ（54）、佐藤 潤（55）、吉田貴裕（56）

若え衆登場

友心会（昭和57年卒）
寺町出身・屋号／六松

しばらく出ていない同級会は、出ると決めるまでが億劫である。私も御多分に洩れず、大学入学で片貝を離れて30年、同級会というものに出たのは成人の花火の1回だけである。そんな私がどうして東京片貝会に参加するようになったのか。それは偶然が重なって届いた同級生からの一通のメールである。

銀座4丁目の交差点で後ろから私の名前を呼ぶ女性がいる。振り向くと高校の同級生で、その場で名刺交換した

ら、後日高校の同窓会に誘わ

れた。高校の同窓会に行く

と、今度は走って駆け寄ってくる

男性がいた。さざなみ会の先輩であった。私の同級生が連絡を取りがっているというのでメールアドレスを交換した。それが件のメールにつながるのである。

東京片貝会に行ってみると実に楽しい。自然と片貝弁になる。父や叔父、弟の同級生とも自然と話がつながる。仕事や家庭を離れて語り合える場があるのがあるがたい。

「愚かなる 吾れをも友とめづ人は わがとも友とめでよ人々」。大河ドラマ「花燃ゆ」のテーマ音楽の歌詞のもとになった吉田松陰の和歌である。その意味は「愚かな私を友と認めて大事に思ってくれる人がいるとしたら、私の友に思っしてほしい」。東京片貝会ですなごつて下さる方々に、この言葉を贈りたい。

友田 啓

同心会（昭和58年卒）
高見出身・屋号／

「若手」ということで会報にメッセージを書いてほしいと頼まれたとき、正直なところ何を書こうか迷いました。と言うのも、私は42歳の厄年の際、同級生の男で都内在住者が自分だけで、当初は名前だけということだったか

らです。ところが、いざ参加してみると、年齢の近い先輩は同じ町内の方々だったり

で、何かと声をかけていただき、何かと声をかけていただき、この会への参加を促していただければ幸いです。

「母校を励ます会」に「寄付をお願いします！」

「母校を励ます会」に「寄付をお願いします！」

「母校を励ます会」に「寄付をお願いします！」

「母校を励ます会」に「寄付をお願いします！」

奥瀬 クリーニング店

奥瀬洋子
（昭和28年卒・大屋敷）
〒194-0021
東京都町田市市中町4-5-3
☎042-723-5727

「患者さんとお医者さん」
～にゃんこ先生奮闘記～
安達昌子 著
人に寄り添う医療を求めて

発売：丸善出版
発行：マイウェイ書房
☎03-5826-5787
http://www.myway-kyokai.gr.jp
info@myway-kyokai.gr.jp

感動空間 新宿レフカダ

落語、漫才、コンサート
楽しい事がここにある!

芝 強（昭和38年卒）
新宿区新宿5-12-4
☎03-5366-0775
http://lefkada.jp/

有限会社 **小山印刷**

黒崎 雅仁
〒152-0002
目黒区目黒本町3-14-16
☎03-3713-0529
FAX 03-3716-1570
koyamainsatsu@s9.dion.ne.jp

はなわらぶ・は・会

H26年11月より
H27年4月まで

母校近況

■小学校 楠田教頭先生

平成27年度は26名の一年生を迎え、全校児童207名(9学級)でのスタートとなりました。4月23日には一年生を迎える会が行われ、各学年が趣向を凝らした出し物を披露しました。翌日の24日にはお花見給食を実施しました。今年の春は暖かい日が続いたため、桜の花はほとんど散っていましたが、快晴の空の下で、どの子もおおいそうに楽しく食べていました。

*交通安全教室を開催

片貝の町中は小路や坂道が多く、自転車乗りには細心の注意が必要です。今年も市の交通指導員の方からお出でいただき、全校児童に、安全で正しい自転車の乗り方を指導していただきました。今年も交通事故ゼロを目指します。

*児童の活躍

○数字は順位
◆小千谷市学童相撲大会①2年女子藤塚美礼、2年男子淺田晃誠、4年男子淺田優心、
②団体男子◆市小学校親善スキー大会①5年女子藤塚亜子、6年男子阿部道徳、6年女子品田萌衣、②女子リレー

◆中越学童親善スキー大会①5年女子藤塚亜子②6年女子品田萌衣◆新潟県書き初め大会 書道教育研究会賞2年鈴木るう、特選6年鈴木ふう
◆内閣府主催防災ポスターコンクール 佳作6年 平澤明香子、入選6年鈴木ふう

■中学校 南雲教頭先生

片貝中学校の部活動は年中無休で活動しています。春夏との大きな違いは3年生が引退したこと。しかし、先輩から伝統を確実に引継ぎ、更に発展させるべく努力を我慢強くしています。そして2015年春には、各会場で努力の成果を存分に発揮してくれるものと確信しております。片貝の子もたちの強さは、我慢してやり遂げようとする。これは、片貝の素晴らしい伝統です。

また、秋冬は科学・文化関係の最盛期です。美術展、感想文など幅広い分野で活躍しております。正に「教育の町」に相応しい活躍です。皆様の母校片貝中学校が更に発展していくようこれからも全力で教育活動に邁進して参ります。応援のほど、よろ

しくお願い申し上げます。
以下の○数字は順位◆バスケットボール部 第45回中越地区中学校親善バスケットボール大会③◆バレーボール部 中越地区中学校新人バレーボール大会②◆第33回栃尾近郷中学校バレーボール大会②

◆卓球部 長岡秋季市民卓球大会中2女子①、中越地区中学校新人卓球大会中2女子①、第12回魚沼地区卓球合同練習会女子団③
◆吹奏楽部 第38回新潟県アンサンブルコンテスト銅賞◆芸術・文化関係 ◇中越地区読書感想文コンクール優秀賞小宮涼花、五十嵐沙月◆第50回新潟県中越教育美術展銅賞 淺田美結◆税の作文小千谷地区納税貯蓄組合連合会長賞五十嵐風嶺◆第14回「創造ものづくり教育フェアinえちご」生徒作品コンクール優秀賞青木玲緒◆いきいきわくわく科学賞2014「片貝町の放射線量」奨励賞

町のできごと

・マジックショー大盛況

町民の集いの一環で、11月30日に一之町肉町内会主催のマジックショーが催され総合センターには世代を超えた百人超の観客が集まり大盛況。・暮らしやすさが鍵になる

・「里山資本主義」の著者で

地域エコノミスト藻谷浩介氏の講義が12月5日に市民会館であり、小千谷の人口は若年層の減少と高齢化傾向だが、暮らしやすさが将来のポイントになると述べた。因みに昨年住みよさランキング(東洋経済社)で小千谷は県内3位。・大塚新市政がスタート

大塚昇一 新市長(63歳・若

業出身)の市政が平成26年11月29日から始まった。人口減少や産業振興への取り組みなど山積する課題に取り組むことが表明されている。

・斉の神は土曜日に開催

市内最大規模である斉の神が1月11日(土)に浅原神社で催され、大小の斉の神、煙火、もつくらもち、おんまいど、42歳希進会による福もちまきと例年通りに多彩な伝統行事が行われた。

・元市長関広一氏逝去

元市長の関広一氏(町裏)が1月18日に病気のため79歳で逝去された。市議7期、市

長2期、中越大震災では不眠不休で対応の陣頭指揮をとられた。退任後もNPO防災サポートおぢやの設立メンバーとして防災への継続的に取り組んでこられた。また震災の語り部として全国各地で体験を伝えられた。平成十年に藍綬褒章、二十年に旭日中綬章を受勲された。(合掌)

・元JA組合長本田初太郎氏逝去

長らく片貝農協組合長を務められた本田初太郎氏(町裏)が4月3日病気のため98歳で逝去された。在任時は多方面で活躍され、さらに文化振興にも尽力された。故浅田壯太郎氏、片貝郷土史研究会の小宮治郎氏と「やせかまど」の伝承に向け7年以上にわたり農協の有線放送で対談が放送された。対談は「やせかまど解説編」として昭和61年1月に同研究会から出版されている。(合掌)

・蔵書は過去最高として

市立図書館の蔵書は昨年度約十四万四千冊で過去最多だが、特筆すべきは行方不明の書籍がわずか28冊だった点。・冴え渡る杜氏の技

4月16日、グリーンパーク

(城内4)で小千谷杜氏組合主催の自醸清酒品評会を開催し、59点が出品されるなか片貝地区の杜氏から、二位を朝日山(朝日山酒造) 山賀基良

氏、三位を越の初梅(高の井酒造) 木村昭裕氏が受賞した。・新人議員トップ当選

4月26日に小千谷市議会議員選挙が行われ、定員16名に18名の候補者がある中、屋敷出身で新人の大矢弘光氏(43歳)が2200票を獲得しトップ当選した。若手議員の今後の活躍に期待が高まる。

・NGT効果があるか?!

AKB48から姉妹グループNGTのキャプテンに就く北原里英(23)さんは片貝祭に昨年プライベートで訪問。今年にはNGTの成功を祈る花火を上げたいとの発言が各方面で取り上げられている、これで一層来場者が増えそう?!

・棧敷の予約受け付け中

片貝町煙火協会では4月1日より棧敷席の申し込み受け付け中。棧敷席の価格は、1枮3万円(2日間通)

☎0258・84・3900

会員計報

ご冥福をお祈り致します。
浅田鐵二様 (昭5卒昭五会)
黒崎音吉様 (昭13卒二六笛雪会)
吉原三代治様 (昭21卒立志会)
高川久江様 (昭30卒朗志会)
あとがき

酒匂川の堤にある桜は今年も爛漫とした佇まいでした。皆さんが故郷に思い寄せる心の風景はどこでしょう。藤塚